

大学で身につけた知識を、
今は毎日「実践」しています。

富山県出身のOBに聞きました



大和薬品工業株式会社 勤務 坂口 勝英さん 2014年工学部卒

医療費の抑制のため、国が普及を進めているジェネリック医薬品の製造に必要な原薬の製造などを行っているのが大和薬品工業(富山市)です。医薬品の品質は原薬次第ともいえるので製造に関しては十分な管理が求められます。

製造過程では、最大5000リットルの容量を持つ反応缶に化学薬品を入れ、加熱反応させてろ過し、冷却させ結晶を取り出すなどの方法で製造します。静電気を帯びやすい薬品は引火の危険などがあり、特に注意が必要です。

製造工場というとベルトコンベアーのような流れ作業でのイメージを抱きがちですが、実際には、製造計画に従って、日々多種多様な処理を経ながら原薬を製造していきます。原材料の入荷から製造、最終製品の出荷にいたるすべての過程において、製品が「安全」に作られ、「一定の品質」が保たれるよう日本のルールだけでなく、国際的な基準に合わせて製造しています。



原薬を製造、チェックする坂口さん

未来の自分が
見つかる場所!



OPEN CAMPUS 2016

開催日 9月11日(日)、10月8日(土)・9日(日)※大学祭同時開催



- 学科説明
- 学科体験
- 保護者説明会
- キャンパスツアー
- 進学・就職相談コーナー
- 入試相談コーナー

在学生の
プロジェクトメンバーが
ご案内します!



■無料シャトルバス運行 ※ご利用の方はホームページからご予約下さい。

往 路	富山駅(北口)	発	7:30
	高岡駅(南口)	発	8:30
	福井工業大学	着	10:30
復 路	福井工業大学	発	14:30
	高岡駅(南口)	着	16:30
	富山駅(北口)	着	17:30

[ホームページ] <http://www.fukui-ut.ac.jp/> 福井工業大学 検索



・電気電子工学科
・機械工学科
・建築土木工学科
・原子力技術応用工学科



・環境・食品科学科
・経営情報学科
・デザイン学科



・スポーツ健康科学科
・デザイン学科

学科では、豊富な実務経験を持つ教授陣によつて一人一人にきめ細かな指導が行われる。そこでは建築の現場の経験や知識が生の言葉で惜しみなく教授される。製図の授業など、先生がこちらが理解するまで教えてくれるのは有り難い

ですね。僕は勉強でもミスを恐れず、何でも質問するタイプ。課題もスケジュールを立て、一つ一つクリアしていくのが得意です。設計は考えたものが最終的に同じで達成感があります。建築の

勉強も部活も、本気で勝負できる。それが福井工業大学の魅力です」

卒業後は現場監督や施工管理など、よりものづくりの現場に近い仕事を希望する。「祖父のように仕事を通して人に喜ばれたり、社会に役立つ人になりたい。もちろんバレー・ボールは一生続けるつもりです」。文武両道で目指すは、秋の北信越大会での優勝。まつすぐ見据えた先に越大会での優勝。まつすぐ見据えた先に

好きなことに、 本気で勝負できる。 福井工業大学の4年間。

3学部8学科の総合大学でありながら、全国屈指のスポーツ強豪選手が集まる福井工業大学。学生は大学のサポートを受けながら、スポーツで鍛えた精神力を武器に文武両道を実現している。南砺市出身の畠腰悠平さんも、建築とバレー・ボールで二つの夢を追いかける。



畠腰悠平(はたごし・ゆうへい)さん
高岡第一高校出身
建築生活環境学科

現在、工学部建築生活環境学科の3年生。日中は、大学の授業、夕方から夜まではみっちり部活動。ハードなスケジュールは、持ち前の切り替えの早さでこなす。全国から集まる強豪選手からなる福井工大のバレー・ボール部。監督の指導に頼るではなく選手自らが練習メニューを作り、効率良く楽しみながら取り組む。この自分達で考えるチームづくりで1年次には北信越大会で優勝。2年次の大会では惜しくも連覇を逃した。卒業する先輩を胸上げできなかつたこの時の悔しさが、現在のチームの強さを底上げしている。

3年生となる今、ゲームキャプテンとしてチームをまとめる。「個人競技と違い一人では試合ができないのがバレー・ボール。背が高い、ジャンプが得意など、みんなの個性を活かしてチームを作つていこうが面白い」。中学・高校時代は周りが



第42回 森田杯 北陸三県バレー・ボール秋季リーグ優勝

ミスを恐れず挑戦し続けたい。
建築の勉強も、バレー・ボールも。

「今はコートにいるメンバーだけじゃなく、部員全員がどうしたら楽しくバレーと向き合えるかを一番に考えて行動できるようになつた。大学に入つて成長した部分ですね」と照れたように話す。

バレー・ボールで培つた集中力、そして勝負にこだわり、目標に向かつて努力を積み重ねる力は学業にも活かされている。建築と土木という両方の視野を持ち、幅広い分野で活躍する専門家を養成する福井工業大学。少人数クラスの建築生活環境

母がやつていたこともあり、小学校5年生で始めたバレー・ボール。高校は富山県内のバレー・ボールの強豪校に進学し、全国大会にも出場を果たした。
一方で「祖父が大工の棟梁で、家で小物を作つたりする姿を見かけました。僕自身もものづくりや建築に興味を持つようになりました」と畠腰さんは語る。

一方で「祖父が大工の棟梁で、家で小物を作つたりする姿を見かけました。僕自身もものづくりや建築に興味を持つようになりました」と畠腰さんは語る。

母がやつていたこともあり、小学校5年生で始めたバレー・ボール。高校は富山県内のバレー・ボールの強豪校に進学し、全国大会にも出場を果たした。
一方で「祖父が大工の棟梁で、家で小物を作つたりする姿を見かけました。僕自身もものづくりや建築に興味を持つようになりました」と畠腰さんは語る。